おじゃまします！ 地域包括支援センターです。

■問合せ先　地域包括支援センター　℡2・2707　防2・1683

認知症高齢者の行方不明者の現状

令和7年における認知症を原因とする行方不明者は約1万7千人で、前年より776人減少したものの、依然として高い水準にあります。男女別では、男性9千人(56％)、女性7千人(44％)で、男性の割合が高い傾向となっています。

所在確認された認知症の行方不明者約1万6千人のうち、98％にあたる1万5千人が、届け出の受理から3日以内に所在確認されていますが、そのうち573人は死亡が確認されています。

認知症の方が行方不明になった場合は、時間が経過するほど発見が難しくなるおそれがあります。「もう少し探してから」とためらわず、速やかに警察へ届け出るなど、早期の対応が重要です。

行方不明に備えてSOSネットワークに登録を

町では、認知症の高齢者が行方不明になった際、速やかに捜索活動を行えるよう「SOSネットワーク」を設けています。このネットワークは、警察や消防などの関係機関、介護・福祉などの民間事業所、地域包括支援センターで構成されています。

登録された方が行方不明になった際には、地域包括支援センターから関係機関へ必要な情報を提供し、一刻も早い発見に向けて連携します。

登録の際は、本人の顔写真を添えて、登録用紙に次の情報をご記入いただきます。

- 氏名
- 生年月日
- 住所
- 身体的な特徴
- その他捜索に必要な情報

また、登録時には、連絡先を記載した靴用のシールをお渡ししています。普段から履く靴に貼っておくことで、発見時の身元確認や家族への連絡に役立ちます。

SOSネットワーク以外の対策もあります

SOSネットワークのほか、GPS機能を活用して本人の居場所を確認できる介護機器のレンタルもあります。登録方法や利用できる支援など、詳しくは地域包括支援センターまでお問い合わせください。

美深厚生病院からのお知らせ

正しい手洗いで感染予防しましょう

私たちの身の回りには、目に見えないウイルスや細菌が数多く存在しています。これらによる感染症から身を守るためにも、手洗いは基本的かつ、大切な対策です。手洗いには、手に付着したウイルスや細菌を物理的に洗い流し、接触感染のリスクを減らす効果があります。流水だけでは、汚れが十分に落ちない可能性があるため、石けんを使用して丁寧に洗うことが大切です。

《正しい手洗い方法》

①流水で手をぬらし、石けんをつけてよく泡立てます。

②手のひらと手の甲を丁寧に洗います。

③指の間、指先、爪の間を念入りに洗います。

④親指を反対の手で包み、ねじるように洗います。

⑤最後に手首を洗った後、流水で石けんを洗い流し、清潔なタオルなどで水分を拭き取ります。

※手洗いは、20秒程度を目安に行いましょう。

秋から冬にかけては、気温が低下し、空気が乾燥するため、感染症が流行しやすい季節です。外出先から帰ったとき、調理や食事の前、トイレの後、せきやくしゃみ、鼻をかんだ後は、特に丁寧な手洗いを心がけ、感染症を予防しましょう。

【問合せ先】
ＪＡ美深厚生病院
℡2・1631